

授業科目名・形態	公衆衛生学	講義	必修・選択の別	選択※
担当者氏名	小杉 真吾・小笠原 健	開講期	2年前期	単位数 2

※看護学科必修

【授業の主題】

公衆衛生学の立場から、生活者の健康づくりと健康を守るための社会のシステムについて学習する。健康な生活をおくるために何が必要か、どのような努力がなされているか、制度、法について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 公衆衛生の定義とその理念対象について理解すること
- 2) 健康とは何か、社会において何を達成しようとするか、その体制を理解し、概説できること
- 3) 地域において医療・保健活動に従事する者として公衆衛生上担うべき役割を考察概説できること

【授業計画・内容】

- 第1回 公衆衛生の概念、健康とは何か (小杉)
- 第2回 健康の要因と指標 (小杉)
- 第3回 感染症と対策予防 (小杉)
- 第4回 食品保健と栄養 (小杉)
- 第5回 我々の生活と環境、環境保全 (小杉)
- 第6回 医療・介護の保障制度、地域保健活動 (小杉)
- 第7回 母子保健、学校保健 (小杉)
- 第8回 生活習慣病対策 (小杉)
- 第9回 難病対策、健康教育とヘルスプロモーション (小杉)
- 第10回 精神保健福祉 (小杉)
- 第11回 産業保健 (小杉)
- 第12回 これからの公衆衛生 (小杉)
- 第13回 タバコとアルコール (小笠原)
- 第14回 薬害・薬物乱用 (小笠原)
- 第15回 生活習慣病・難病 (小笠原)

【授業実施方法】

講義を主体として行う。

【授業準備】

事前の特別な準備は求めません。講義でどのように説明したか、どんな理屈で説明したか、思い出しながらテキストを読み返して、テキストの文章の意味をよく理解して復習してください。講義で特に取り上げた事柄や事例については、参考書や報道記事、ネット資料で確認してください。

【主な関連する科目】 保健・医療と法律、保健師課程科目

【教科書等】 「わかりやすい公衆衛生学 第4版」、清水忠彦・佐藤拓代、ヌーヴェルヒロカワ
「公衆衛生がみえる 2018—2019」、監修 石川雅俊他

【参考文献】 適宜、紹介する

【成績評価方法】

筆記試験 90%、出席状況・授業態度 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

公衆衛生は医療関係者にとっては、土台となるべき基礎知識の宝庫であります。日常生活で周りに起きていること、新聞記事等報道で取り上げられること、いろいろなことについて、関連性がないか、どういうことなのか、考えて理解を深めるようにしてください。